

EMAK 第10回ワークショップ開催

【事業概要】

経済産業省は、一般財団法人省エネルギーセンターに委託事業を依頼し、EMAK（Energy Management Action Network）のワークショップを以下の通り、2020年12月4日、ベトナム ハノイにおいて開催しました。本ワークショップは当初2020年2月に実施予定でしたがCOVID-19蔓延のため延期し、ベトナムに渡航できない参加者のため日本とインドネシアの会場をベトナムの会場とオンラインで結ぶ方式で実行しました。

（1）目的：産業及び商業部門におけるエネルギー管理事例をエネルギー管理に関係する官民関係者の間で共有する。

（2）内容：今回は以下の2点について発表があり質疑が交わされました。

①ASEAN 域内での協力や日越二国間協力によるベトナムにおける省エネルギーに関する法制度やエネルギー管理システムの整備の紹介。

②国際機関の協力でベトナム企業が実施したボイラーのエネルギー効率改善及び日本とインドネシア企業の先進的エネルギー管理システムの共有。

（3）結果：発表に基づくパネル討議とワークショップ参加者の意見交換により、EMAKの今後の方向性をまとめて、ワークショップの結論としました。



参加者の集合写真

ベトナム・日本・インドネシア各会場からの発表

EMAKはG20イニシアティブのもとで、日本をリーダーに11カ国が参加する国際ネットワークであります。産業用エネルギー管理の優秀事例の共有と政府省エネ政策担当者及びエネルギー管理従事者間のネットワーク構築を目的としたワークショップを2010年以来10回実施、今回初めてG20加盟国以外で開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインにて開催することとし、ベトナム会場の参加者69名に加え日本とインドネシアから13名が参加し、エネルギー管理に係る情報の共有を行いました。

法的枠組みと国際協力の下での省エネの推進に関するパネルディスカッションでは、適切な省エネ計画の策定と規制や財政支援を通じた省エネ推進の動機の提供、エネルギー管理システムの導入に係るすべての利害関係の能力構築の重要性が議論され、エネルギー管理に関する適切な協力プロジェクトの提供の重要性が指摘されました。

EMAKの今後の方向性として、効果的なエネルギー管理システムと省エネ優秀事例を達成したデモンストレーションプログラムの成果やエネルギー管理ガイドラインの普及の優秀事例の共有が持続可能な社会への貢献として重要であることが認識されました。